

第2章

環境の現状と対策



不法投棄の多発現場に設置した監視カメラ

第2章 環境の現状と対策

第1節 環境関連計画の進捗状況

1. 越谷市環境管理計画

指標項目	指標の説明	単位	現況値 R1 (2019)	目標値 R12 (2030)	実績値 R3 (2021)
基本目標1 脱炭素社会の構築					
市域からの温室効果ガス排出量	市域からの温室効果ガス排出量のうち、二酸化炭素 (CO ₂) とメタン (CH ₄)、一酸化二窒素 (N ₂ O) の排出量	千t-CO ₂	1,540 (2017年)	1,248 (2030年)	1,267 (2019年)
		(2013年度比) %	-8.60%	-26%	-18.3%
地球温暖化・COOL CHOICE普及取組年間参加者数 (市民・事業者)	地球温暖化やCOOL CHOICEに関する学習会等の参加人数	人	146	500	748
建築物省エネ法に基づく届出等件数 (総振)	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づく届出件数及び適合性判定件数の合計	件	211	980	338
市の事業・支援による太陽光発電設備の発電容量 (総振)	公共施設に設置または市の補助等により設置した太陽光発電設備の発電容量	kW	7,423	11,000	8,214
市の事業・支援による蓄電池の蓄電容量 (EV含む)	公共施設に設置または市の補助等により設置した蓄電池の蓄電容量	kWh	621.5	6,700	1,746
持続性の高い緑地面積	二酸化炭素吸収源として、市域で確保した緑地面積の合計値	ha	1,420	1,445	1,404
乗合交通利用圏域のカバー率 (総振)	市の面積に対する公共交通利用圏域 (鉄道駅1km圏内、バス停300m圏内の圏域および乗合タクシーなどの新たな公共交通利用圏域) の面積の割合	%	70.5	R7 (2025) 76.5	70.5
リサイクル率 (%) (総振)	市内で排出される廃棄物のリサイクル率	%	17.7	25	16.7
革新的な取組の反映件数	温室効果ガス排出量の大幅削減に資する革新的な取組の反映件数	件	-	5	0
基本目標2 気候変動影響への適応					
気候変動適応に関する市民への情報発信回数	気候変動の影響や被害を回避・軽減する「気候変動適応」に関する講演・勉強会の開催や周知啓発等の回数	回	-	3	1
気候変動適応に関する庁内連携の取組件数	行政計画への気候変動適応の考え方・施策の反映件数や研修・資料提供等による情報提供件数	件	-	5	3
猛暑日回数当たりの熱中症搬送数	猛暑日 (35℃以上) における、回数当たりの熱中症搬送人数	人/日	9.16	9.0	10.56
まるとまちごとハザードマップ設置実施率 (総振)	浸水深や避難所等の知識の普及等を図る洪水ハザード看板及び避難所誘導標識の設置実施率	%	-	R7 (2025) 100	44
市の事業・支援による雨水貯留施設貯留量	公共施設に設置または市の補助等により設置した雨水貯留施設の貯留量	m ³	5,310	5,440	5,312
気候変動適応に関する事業者への情報提供・支援などの取組件数	産業分野等における取組情報の収集・提供件数や助言件数	件	-	10	1
基本目標3 資源循環型の地域形成					
1人1日当たりごみ排出量	市民1人1日当たりが排出するごみの量	g/人・日	795	690	781
リサイクル率 (%) (総振) 【再掲】	市内で排出される廃棄物のリサイクル率	%	17.7	25	16.7
家庭から排出される食品ロス量 (t/年)	家庭から排出される、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品の総量	t/年	8,047	6,000	8,026
集団資源回収実施団体登録件数	市内における自主的に資源回収を行う団体の登録数	団体	464	500	438
事業系ごみ排出量	市内の事業者から排出されるごみの量	t	26,143	21,000	23,797
排出事業者及び収集運搬許可業者を対象とした説明会実施回数	排出事業者及び収集運搬許可業者を対象とした説明会実施回数	回	1	2	1
ふれあい収集の登録件数 (総振)	市が実施しているふれあい収集の登録数	件	472	800	510
電子manifesto普及率 (%) (総振)	越谷市内のmanifesto交付状況における電子manifestoの利用率	%	76	90	73
地場農産物の学校給食使用品目数	地場農産物の地元消費拡大や食の重要性及び農業への理解を深めることを目的とした市内小中学校の学校給食で使用される地場農産物の品目数	品目	12	12	12

基本目標4 生物多様性の保全と回復					
希少植物の栽培・補植活動実施面積	コシガヤホシクサ、フジバカマ、ウマノスズクサなどの栽培や野生復帰実験等の実施面積	m ²	109	135	120
保存・樹林・樹木地区の指定箇所数（総振）	生き物が暮らす環境の保全として、保存・樹林・樹木地区の指定数	か所	—	R7 (2025) 10	0
生物の生息・生育に配慮した区域の面積（総振）	公共施設ビオトープ、環境保全区域、ふるさと米圃場、調節池ビオトープゾーン、平方自然観察林などの合計面積	ha	32.4	34	32.4
合併処理浄化槽普及率（総振）	市内における合併浄化槽の普及率	%	37	50	40
排水基準適合率（総振）	水質汚濁防止法における規制対象事業所（日平均排水量が10m ³ 以上）の排水基準に適合した割合	%	100	R7 (2025) 100	100
農地利用集積地域数（総振）	農地の保全・有効活用を目的として実施した農地利用の集積・集約化が行われた地域数	地域	4	6	4
生物多様性子ども調査実施学校数	環境の現状について理解を図り、生き物にとってやさしい街づくりについて考えることを目的とした調査に取り組んだ学校数	校	30	30	30
基本目標5 安全で安心な生活環境の形成					
排水基準適合率（総振）【再掲】	水質汚濁防止法における規制対象事業所（日平均排水量が10m ³ 以上）の排水基準に適合した割合	%	100	R7 (2025) 100	100
合併処理浄化槽普及率（総振）【再掲】	市内における合併浄化槽の普及率	%	37	50	40
人口1000人あたりの騒音による苦情件数（SDGsローカル指標）	自治体におけるSDGsの取組の進捗状況を計測する際に使用される指標	人	0.15	0.15	0.18
空間放射線量・給食放射性物質の目標達成率	放射線対策基本方針で定められている目標値	%	100	100	100
人口1000人あたりの悪臭による苦情件数（SDGsローカル指標）	自治体におけるSDGsの取組の進捗状況を計測する際に使用される指標	人	0.06	0.06	0.06
「こしがや景観資源」の登録件数（総振）（累計）	「こしがや景観資源」の登録件数	件	65	R7 (2025) 240	149
景観の満足度（総振）	市政世論調査における「住んでいる地区の景観（風景）に満足しているか」という項目で、「満足している」「十分とはいえないが、概ね満足している」と回答した割合	%	66.7	R7 (2025) 70	65.4
自治会清掃回収件数	各自治会が行った清掃活動により集められたごみの回収件数	件	372	400	288
市の事業・支援による蓄電池の蓄電容量（EV含む）【再掲】	公共施設に設置または市の補助等により設置した蓄電池の発電容量	kWh	621.5	6,700	1,732
多面的機能に関する情報発信件数	農地の多面的機能の維持・発揮を図るための地域活動に係わる団体を支援する件数	件	4	6	7
基本目標6 人づくり、参加・協働					
環境・SDGs学習の実施校数	環境教育を教育課程に位置づけている学校数	校	45	45	45
環境・SDGsに関する取組件数（総振）	市民・事業者等との協働による環境教育、環境活動、SDGs等に関する取組件数	件	24	R7 (2025) 30	13
環境・SDGsイベント参加者数	市や市民・事業者等との協働による環境教育、環境活動、SDGs等に関する取組参加者数	人	5,232	10,000	3,910
市民・事業者によるSDGs宣言世帯数・事業所数（総振）	「(仮称)越谷市SDGs宣言」へ登録している世帯数及び事業所数	件	—	R7 (2025) 1,000	0
連携取組における発表事例数	市や市民・事業者等との協働による環境教育、環境活動、SDGs等に関する取組事例の発表件数	事例/年	—	10	0
市民のエンシカル消費に向けた関連施策の実施件数	リーフレット配布や出張講座等による普及啓発や関連施策の実施件数	件	2	10	1

※環境管理計画「基本目標1 脱炭素社会の構築」は、「越谷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」として位置付けています。

2. 一般廃棄物処理基本計画

	目標	現況値 (H21)	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	評価	目標値	
						短期(H27)	中期 (H32)
目標1 ごみ排出量の削減目標	1人1日当たりのごみ排出量を800g/人/日に削減する	865g/人/日	792g/人/日	781g/人/日	◎	826g/人/日	800g/人/日
	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量を611g/人/日に削減する	645g/人/日	608g/人/日	592g/人/日	◎	617g/人/日	611g/人/日
	事業系ごみ排出量を23,499t/年に削減する	26,093t/年	23,133t/年	23,797t/年	◎	25,769t/年	23,499t/年
目標2 再生利用の目標	分別の徹底により、リサイクル率を25.4%に引き上げる	18.2%	17.9%	16.7%	×	22.1%	25.4%
目標3 最終処分量の削減目標	最終処分量を9,088t/年に削減する	9,957t/年	7,674t/年	8,303t/年	◎	9,503t/年	9,088t/年

※リサイクル率＝（資源化量合計＋資源回収量）÷（ごみ処理量＋資源回収量）